

研究科	法学研究科
専攻	法律学専攻
専攻の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本専攻の教員養成の目標は、名城大学における教員養成の理念、および研究科の設置理念のもと、①法学・政治学についての専門的知識・思考をもって現代社会に幅広く対応できる力、②我々が生きる社会・国家について歴史的背景や思想的背景をふまえて多面的・総合的に考察できる力、③主体的に思考しその考えをまとめ他者にわかりやすく伝えることのできる力、を備えた教員を養成することにある。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>本専攻は、目標を達成するために以下の計画を実施する。</p> <p>①、各専修分野に関する「研究科目」を配置し、専門分野に関する精深な学識ならびに諸外国の理論及び制度又は隣接する学問分野等に関する知見を修得し、国内外の学術文献を正確に読解する力、優れた論理的思考力、公正な判断力及び高い倫理性等を身につけることができるようにする。</p> <p>②指導教員が一貫かつ継続的で、個別的な研究指導を行う「研究指導科目」により、多角的な発想を養い、社会の変化に敏感でありつつも一貫して真理を探究する姿勢を身につけさせる。</p> <p>③少人数・双方向性を確保した授業体制の下、プレゼンテーションやクリティカルな討論を積極的に取り入れ、課題発見能力を修得できる能動的学修を実施する。</p>

研究科	経営学研究科
専攻	経営学専攻
専攻の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本専攻は、立学の精神「穏健中性で実行力に富み、国家、社会の信頼に値する人材を育成する」に根差し、グローバル化・情報化が進展している社会において求められる判断力・実行力を備えた人材教育をなしえる教員を養成することを目標とする。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>本専攻は、目標を達成するために以下の計画を実施する。</p> <p>①教育研究上の特色を活かした教職課程の編成 「経営学・ものづくりシステムコース」、「会計学・ファイナンスコース」の各コースに配置された科目により、高度で特色ある研究を通して、教員として必要な高度な教科専門性と確かな探求能力を育成する。</p> <p>②教職センターとの連携 教職センター委員会を通じて、本専攻の教職課程自己点検・評価活動を行うとともに、全学的な教職課程を担う教職センターと連携し、教職課程運営の改善を推進し、教職課程の質の向上を図る。</p>

研究科	経済学研究科
専攻	経済学専攻
専攻の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本専攻の教員養成の目標は、研究科教育課程を通じて習得した、経済学に関する専門知識とそれを経済社会に適用する方法、専門領域における独創性と課題解決力、自らの研究成果をアピールできるプレゼンテーション能力と相互理解を深めるためのコミュニケーション能力などを生かし、新たな学修方法の工夫などに必要な実践的指導力を備えた教員を養成することにある。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>本専攻は、理論経済・経済史、経済政策、現代産業構造の各専修分野を置き、社会科、公民科が対象とする領域を扱う授業科目を開講する。高度な知識と分析手法を習得する専修分野の諸科目、ならびに、修士論文作成に必要な諸方法を習得する研究指導科目を設置するとともに、少人数・双方向性を確保した授業体制の下で研究成果の報告会を実施する。</p>

研究科	理工学研究科
専攻	数学専攻
専攻の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本専攻の教員養成の目標は、数学教育や情報教育に求められる基礎的知識・発展的知識・高度な技能・深い思考力・豊かな表現力を体得し、高い教養と専門的知識を持ち、非常に古くから存在する数学という文化の重要性と魅力、さらに最新の数学の新鮮な息吹を深く吸収し、自身の言葉で自在に語り、「生徒たちの数学や情報を学ぶ意欲」を高めることのできる資質を備えた教員を養成することにある。数学と数理学分野の全般について、専門の教育と研究を通し、学際的分野においても見識が広く国際的視野を持った人を育成する構想である。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>本専攻においては、徹底した少人数と緻密な教育カリキュラムとを通し、入念な教材と研究課題の選択を通して、最先端の数学を学びながら、さらなる発展に向けての研究を行い、数学という非常に息の長い文化と最新の数学理論とを深く吸収し、それを、様々な方法で生徒に伝えられる自在な表現能力を育成する。</p>

研究科	理工学研究科
専攻	情報工学専攻
専攻の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本専攻は、情報活用力、情報に関する科学的理解、情報化社会の中で情報が果たしている役割や及ぼしている影響について精通し、かつ課題の理解や解決策の探求も含めた実践的な課題解決能力を合わせ持つ教員を養成することを目標とする。社会に通用する高度な科学技術者として求められる高い教養と専門的能力を備えた教員を輩出して社会に貢献していく。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>本専攻は、目標を達成するために、次の計画を実施する。</p> <p>①教員としての資質・技能の養成 教育の基礎的理解に関する科目等を通して、教員としての資質・技能を養成する。</p> <p>②本専攻の教育研究上の特色を生かした教職課程の編成 情報工学に関わる4つの専門領域である「情報デバイス」、「情報処理」、「情報メディア」、「情報通信」の科目を設置し、高度で特色のある教育研究を通して、教員として必要な高い教養や専門的能力、課題解決能力を育成する。</p>

研究科	理工学研究科
専攻	電気電子工学専攻
専攻の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本専攻の教職課程においては工業教育に求められている電気分野に関する基礎的な素養を養うとともに、「科学的な思考力・表現力」および「観察・実験、探究活動」等の基本的方法論を身につけると共に幅広い視野と深い思考力を持ち、修得した技術・能力を用いて社会に貢献する意欲のある技術者を養成することができる工業教育の人材を養成する。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>本専攻では、目標を達成するために、電気電子分野における高度で特色ある研究、実験及び演習を通じて専門知識・技術と研究・開発能力を向上し、幅広い視野と深い思考力を有し、修得した技術・能力を用いて社会に貢献する意欲のある技術者・研究者を養成する。</p>

研究科	理工学研究科
専攻	材料機能工学専攻
専攻の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本専攻の教職課程では、「材料組織構造と機能」を礎とした材料工学に関して、高い教養と専門的能力を持つ教員の養成を使命とする。これに基づき、「実務者を講師とした特別講義」の履修や学会発表を積極的に支援し、理科および工業教育に求められる科学技術に関する基礎から実用開発に至る幅広い知識と経験、および応用力を兼ね備えた「産業を支える人材」の育成に寄与できる教員も養成する。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>本専攻では、材料工学に関して「電気電子」、「構造・物性解析」、「機械特性」の3分野を根幹とした教育を展開している。それぞれの分野でより高度な教育を展開するとともに、学協会活動における専門実務者との意見交換の場を活用することで、研究を高度化し、グローバルな視野を備えた人材の育成を目指し教育を行っている。</p>

研究科	理工学研究科
専攻	応用化学専攻
専攻の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本専攻の教員養成の目標は、生命有機化学、物質物理化学、環境・エネルギー科学などの分野を基盤とし、科学技術の発展に寄与し、化学分野にとどまらない理科全般について専門知識を有し、自身の言葉でその魅力を発信することのできる資質を備えた教員を養成することにある。専攻する専門分野の教育と研究を追求し、学際的にも見識が広く国際的視野を持った人材を育成する構想である。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>本専攻では、少人数・双方向の授業体制により、実習、プレゼンテーション、研究発表等を積極的に取り入れ、能動的学修を促進する体制をとっている。この体制を通じ、最先端の理科を学びながら、生涯に渡る学び、研究を持続する力、及び共同研究などの他者と交流するための国際的に通用するコミュニケーション能力の育成を計画し、実施している。</p>

研究科	理工学研究科
専攻	機械工学専攻
専攻の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本専攻の教職課程では、教員養成課程として求められる高い教養と専門的能力を持つ教員であるとともに、機械工学に関して高い教養と専門的能力を持つ教員の養成を使命とする。理科および工業教育に求められる科学技術に関する基礎から実用開発に至る幅広い知識と経験、および応用力を兼ね備えた「ものづくり産業を支える人材」の育成に寄与できる教員を養成する。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>機械工学の高度な専門知識及び幅広い関連分野の知識を修得させるため、熱・流体、材料・強度、設計・生産、および運動力学・制御の4専修分野にコースワークを配置している。また、リサーチワーク（演習・実験科目）における研究活動を通じて、研究分野に関する深い思考・調査能力を修得し、自ら問題設定ができそれを解決する能力を養成する。また、研究発表・学会活動における学内外の専門実務者との意見交換の場を活用することで、幅広い視野を備えた人材の育成を目指し教育を行う。</p>

研究科	理工学研究科
専攻	交通機械工学専攻
専攻の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本専攻の教職課程では、「交通機械」を主軸にした機械工学の基礎・応用と「知的ものづくり」の教育を通して、高度な専門的能力と技術を持つ教員の養成を使命とし、工業教育に求められている技術に関する高度な素養を身につけた教員を養成して、「新たな時代のものづくり産業を支える人材」を育成することのできる工業教育の担い手を養成する。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>本専攻では、交通機械工学の高度な専門知識及び幅広い関連分野の知識を修得させるため、エネルギー・流体工学、材料・構造工学、制御・システム工学の3専修分野にコースワークを配置している。また、交通機械工学を深く研究できるようにするため、リサーチワークを配置している。深い思考能力と幅広い視野を修得し、自ら問題設定ができ解決する能力を養成するための教育を行っている。</p>

研究科	理工学研究科
専攻	メカトロニクス工学専攻
専攻の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>大学の立学の精神に基づき、幅広い知識と豊かな感性を備え、工業教育上の諸問題を解決するために学び続ける、科学と人間生活、物理分野に実践力ある教員を養成すること。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>演習・実験科目における研究活動を通じて、自身の研究分野に関する調査能力を育て、未知の課題に取り組むための計画と実行の能力を養成する。また、学内外での研究発表を通じて、論理的思考に基づいて自身の取り組みを発信する力を養成する。このような教育を通じて、専門性を有し、新たな問題に対しても論理的に思考し、実行可能な人材を育成する。</p>

研究科	理工学研究科
専攻	社会基盤デザイン工学専攻
専攻の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本専攻は、名城大学の「立学の精神」を汲み、「穏健中世で実行力に富み、心身ともに健全で、地域社会・国家社会・国際社会の信頼に値する人材の養成」を教育目標に掲げ、「幅広い視野と高度な専門知識・技術を有し、創造性・国際性豊かな能力を持つ教員」を養成することを目標とする。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>本専攻の特色ある教育研究を通して、教員として必要な知識や諸能力を養成する。具体的には、高等学校専修「工業」を対象とし、構造工学、水工学、地盤工学、都市・交通計画学、建設材料学という社会基盤デザイン工学の幅広い専修分野に関する科目を総合的に修得することにより、工業の教員としての必要な知識や諸能力を養成する。</p>

研究科	理工学研究科
専攻	環境創造工学専攻
専攻の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本専攻の教員の養成目的は、数学、物理または化学などの基礎知識を踏まえて、エネルギー・資源循環、環境共生と人間活動環境にかかわる科学技術などを工業高等学校の講義と実験・実習科目などで教授および指導できる教員を養成することにある。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>上記の目的を達成するために、環境創造工学にかかわる基礎科目と専門科目を「共通」、「エネルギー・資源循環専修分野」、「環境共生専修分野」、「人間活動環境専修分野」毎に設置し、特に実験・実習科目を充実させている。さらに、各専修分野で取得させる教授能力を以下のように設定している。</p> <p>「エネルギー・資源循環専修分野」では、再生可能エネルギー技術・エネルギー変換技術の開発や、ライフサイクルの視点から省エネルギー対策技術、材料の長寿命化、省資源・循環に関わる科目を配置することで環境負荷低減に寄与するための知識と技術を教授できるようにする。また、「環境共生専修分野」では、自然環境の成り立ちおよび自然環境の変動状況の理解を深めるための地球・地域環境問題に関する科目を配置し、広域・長期の視点で自然との共生のための知識と技術を教授できるようにする。さらに、「人間活動環境専修分野」においては、人間活動や人体と環境の相互の影響の分析、これに基づく持続的な環境の創造、人間活動の場となる都市・住環境の基盤施設の持続性の評価などの科目を配置し、エネルギーの生産と消費にかかわる知識と技術を教授できるようにする。</p>

研究科	理工学研究科
専攻	建築学専攻
専攻の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本専攻の教員養成の目標は、教員養成課程として求められる高い教養を持つ教員であるとともに、高度で先進的な専門教育を通じて、科学技術者としての「科学的な思考力・表現力」、「科学に対する関心を持ち続ける態度」、「観察・実験、探究活動」等の基本的方法論を身につけた教員を養成することにある。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>本専攻では、少人数・双方向の授業体制により、実習、プレゼンテーション、研究発表等を積極的に取り入れ、能動的学修を促進している。これらの授業を通じて高度な知識および高い倫理観に基づき、物事を深く捉え、公正に判断できる能力、深い思考能力と幅広い視野を修得し、自ら問題設定ができ、解決する能力を養成している。また生涯にわたる学び続ける力、国際的に通用するコミュニケーション能力も養う。</p>

研究科	農学研究科
専攻	農学専攻
専攻の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本専攻においては、専門教育及び研究活動を通じて、理科分野及び農業分野の専門的知識に加え、生命現象のしくみ、生物の利用と生産、環境保全、食料問題についての高度な知識と研究手法を修得し、これからの課題探求型教育・国際的な発信型教育に対応できる、創造的な能力と実践的な指導力を持った教員を養成することを目標とする。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>学部では3学科に分かれている教育課程を、大学院では1専攻にまとめることで、専門及び関連学術分野に関わる高度な知識と技能に加えて、生命、食料・健康、環境の各分野のバランスがとれた専門知識に基づいた総合判断力を身につけさせる。専攻教育の中核となる学術研究論文の作成においては、教員と学生の間での意見交換を通じて、未解明な問題へのアプローチ法や論理的思考力の修得、ならびに科学倫理の理解を達成し、成果発表の機会を設けて、ディスカッション能力やプレゼンテーション能力などの発信力を養う。また、国外での学会発表や研究活動、国際学術交流により、国際的な視野を身につけさせる。</p>